

令和4年度の重点課題

- 新体カテストの総合評価の上位層43.7%、下位層23.2%である。(AB-DE)率20.5%)
- 第5学年の男子は、「握力」および「ボール投げ」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 第5学年の女子は、「握力」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 第5学年において、運動やスポーツをすることが「やや嫌い」と答える児童の割合が男子で6.1%、女子で7.1%、「嫌い」と答える児童の割合は男子で1.2%、女子で3.5%である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 「縄跳び月間」の実施  
学年ごとに縄跳びの目標を設定し、その目標に向けて一人一人が練習を行った。縄跳びカードの指標に沿って、縄跳びの技術および基礎体力の向上を図った。
- 「校内ドッジボール大会」の実施  
学年ごとに学級対抗ドッジボール大会を実施し、集団で体を動かすことの楽しさや喜びを味わわせる活動を行った。大会に向けて1か月前から練習や目標設定を行い、意欲を高めた。
- 「ロング昼休憩」の実施  
昼休憩に通常より長い40分間の休憩時間を設定し、運動場で長い時間思い切り体を動かし、外遊び励行の行事を定期的の実施した。
- 「持久走記録測定」の実施  
各学年ごとに定められた距離を自分のペースで気持ちよく走り、自らの目標達成に向けて取り組んだ。

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.07	22.37	38.48	46.17	53.30	9.85	160.11	20.67	56.23	第5学年	17.04	22.10	45.25	44.80	43.81	9.82	160.32	14.41	61.06

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.07	22.37	38.48	46.17	53.30	9.85	160.11	20.67	56.23	第5学年	17.04	22.10	45.25	44.80	43.81	9.82	160.32	14.41	61.06

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	73.3	18.7	4.0	4.0	第5学年	59.70	35.82	2.99	1.49

学校独自の意識調査

	休憩時間、外遊びをしている				外で遊ぶことは楽しい			
	いつも	まあまあ	あまり	まったく	とても	まあまあ	あまり	まったく
高学年	31.5%	24.8%	28.2%	15.5%	60.5%	31.7%	4.6%	3.2%
低学年	19.7%	34.9%	23.3%	22.1%	59.8%	24.6%	13.4%	2.2%

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 体育科の学習内容に必要な技能を高めるために、楽しく有効なドリルゲームを取り入れる。
- 運動場に設置された「投げるのうまくなるゾーン」「縄跳び台」の活用で新体カテストに関わる様々な動きを修得する。
- 昨年度に継続して、準備運動(10~15分)の中にACP(アクティブチャイルドプログラム)など心肺機能の高まる運動遊びを取り入れる。
- 児童の身体表現の中に、新たな動きが加わるよう、より多くの表現運動の場を設ける(ラダーの活用など)。
- ICTを活用し、児童が自分の動きを客観的に見ることができる学習を行う。

体育の授業以外で行う取組内容

- 「ロング昼休憩」を継続実施する。
- 学級ごとに全員遊びを週1回計画し、外遊びへのきっかけ作りの場とする。
- 「学級対抗ドッジボール大会」の実施。
- 「持久走記録測定」を継続実施し、日頃の練習の成果を発揮したり、自分の目標達成に向けて努力したりする。
- 家庭で行うことができる、簡単なストレッチや体操、ダンスなどを動画紹介し、タブレットで見ながら運動する習慣を作る。

重点課題

情意面での課題

- 男子  
運動やスポーツをすることが「やや嫌い」または「嫌い」と答える児童の割合が8.0%である。
- 女子  
運動やスポーツをすることが「やや嫌い」または「嫌い」と答える児童の割合が4.4%である。

体力面での課題

- 男子  
「握力」「50m走」「ボール投げ」が、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子  
「50m走」が、県平均値かつ全国平均値より低い。

令和6年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と答える児童の割合を男女とも90%以上(今年度は男子92%, 95.5%)で継続する。
- 新体カテストのすべての項目において、男女とも県平均値以上にする。